

第5回 養父市教育（施設）のあり方検討委員会 会議録

日 時 令和7年11月28日（金）午後7時00分～
場 所 養父公民館2階 A研修室

1 開 会

午後7時、高木課長により開会。

出席者の氏名

委 員 小西 哲也委員長、中島 邦子副委員長、村崎 富美子委員、
安東 博之委員、西山 佳代子委員、宿南 宏行委員、
田邊 賢吉委員、久保田 史哉、田中 政博委員、
岸本 純委員、中野 宗一郎委員、原 真理委員

事 務 局 小井塚理事兼教育部長、
西山教育部次長兼こども学び課長、高木教育課長、
中尾学校教育担当課長、森崎 100年のまなび共創課長、
中西教育課主幹、日下部こども学び課主査、圓山教育課主査、
白山教育課主事

傍 聴 者 5名

2 委員長あいさつ

小西委員長…いよいよ、皆さんで集まって話し合いをするのが最後となりました。ここまで難しいことを考えていただいたなと思います。今日は取りまとめた案が教育長から示されると思いますが、意見があれば遠慮なく言い合って、より良いものに出れたらいいなと思っています。

3 議 事

(1) 報告事項

- ・第4回委員会会議録の確認について
小西委員長の発言の一部を訂正。

(2) 意見交換

- ・養父市の学校・園のあり方に係る答申案について
米田教育長…事前に送付させていただいた答申書と答申の資料について説明させていただきたい。そのうえで、皆様からのご意見を伺いながら答申のブラッシュアップをしていき、今日が終わるときには「まとめができた」と言えるところまでたどり着きたい。(答申書を読み上げながら説明)

事務局 …皆様からご意見をいただき調整する段階で、条例上決められた名称へ統一させていただくのでご了承いただきたい。

【委員の意見】

- ・色々な方がいるので、分かりにくい言葉には注釈を加えてほしい。
- ・「めざす学校」の部分を、もっと他の言葉で表現できないか。
- ・地域とのつながりだけでなく、学校間が繋がっていくようなものが必要。
- ・心を育てる部分に関する文言が必要。
- ・「子どものころからしっかりと地域に関わることができる」とあるが、これまで出来なかったことである。「地域に関わることを重視する」という文言を入れるといい。
- ・コミュニティスクールに取り組んできた利点を加える。
- ・「市を作ることは教育だ」と感じられる表現があるので控えた方がいい。
- ・「ついては」と繰り返し出てくるところは、違う言葉で表現する。
- ・目指すものばかりでなく、再編後の流れや構想が分かる文言がほしい。
- ・今後の部活動について不安を抱く保護者が多いため、部活動に関する記載が欲しい。
- ・これまで話し合いをしてきた内容がよくまとめてある。
- ・今後のビジョンや具体的な例があればもっと分かりやすい。
- ・まとめられた資料を読むと先が明るくなっていると感じられた。
- ・「めざす学校」のイメージとしてはいいが、さらに良い表現にしたい。
- ・今後の方向性が、どれくらい先を見通しているのかが分かりづらい。教育振興計画でも期間が示されているが、この答申書における「今後」についてもある程度目途を立てる方がいい。
- ・統合の方針で「複式が見込まれる学校は統合を進める」とされているが、どの小学校が該当するのかどうか分かりづらい。
- ・答申資料には、話し合いがまとめられていると感じる。
- ・答申書において、「義務教育学校の新築」という記載では混乱を招く可能性がある。「新築」ではなく「設置」とする方が答申資料と方向性が合う。

- ・10年後よりさらに先のことを考えるなら、旧町ごとに公立園を1園残していいのだろうかと思う。
- ・養父市では0歳からの連続した教育に取り組んでいるので、連続性をふまえて「養父市で産み育てること」「子育てを楽しむこと」に関する文言があった方がよい。
- ・市のビジョンの明確化について話し合ってきたことも加えてほしい。
- ・義務教育学校の「新築」という表現はひっかかる。

米田教育長…「めざす学校」についてもっといい表現をというご意見が多く出たが、どのように表現すればいいだろうか。あり方検討委員会で考える「めざす学校」はみなさんの考える学校であるので、ここをしっかりと一緒に考えたい。皆さんが熱心に考えてくださったので、入れた部分である。皆さんの意見を反映できる部分だと思っているが、この部分が不要だと思われるのなら削除してもいいかと思う。

【委員の意見】

- ・「地域とつながる」ではなく「地域とつながることでみんなが責任を持つ」という表現はどうだろうか。
- ・「誇りとなる」ではなく「誇れる」にする。
- ・プレスリリース等で市民の方が目にするなら、できるだけ思考停止言語なるものは排除する方がいい。
- ・保護者目線では、「他に例を見ない」というのは関係ないように思う。
- ・文言だけが並んでいるだけだと分かりづらいので、この部分は残しておいていいと思う。

米田教育長…皆さんから出た意見を反映させたものを再度送付させていただく。そのうえで、さらに改善点があれば書面でのご連絡とし、12月19日の答申に向けて準備していきたい。この書類がまとまらないことには答申することができないので、皆様のご協力をお願いしたい。

小西委員長…前回の委員会を行ったとき、当時の市長が「学校は統合しない。学校がなくなるとまちが終わる。今の学校で教育を考えて

いってほしい」と言われたが、市長が変われば変わるのかと感じた。「学校を残す」と言っていた養父市が「統合を進めていこう」という方向で話し合うにはどうすればいいかと随分悩んだが、養父市民が「子どもを育てていく」という気持ちになり「こんな学校を作っていく」という思いでまちづくりを進めていけたらいいなと思うようになった。ぜひこの気持ちを、皆さんから地域の皆さんへ伝えていっていただきたい。

【アンケートの実施について】

小西委員長…これまでの意見には、子どもの意見がない。大人が決まりきった結論があったかのようにまとめるのではなく、子どもや先生方、市の職員へアンケートを取りたい。「担い手意識」と「愛着」に絞ったアンケートになっており15分程度で回答できるが、これで大体の傾向が読み取れると考えており、このアンケートの実施に対して了解していただきたい。

米田教育長…行政職員用とあるが、地域の方にアンケートを実施する前に教育委員会の職員に限定したテストランの形式で行い、このアンケートが適切かどうか検討したい。

委員 …教育委員会の職員よりも広い範囲で実施していただける方がいい。

米田教育長…答申を出した後、他の市職員や市民へもアンケートが必要だと行政的に判断されたら実施しようと思っている。答申までの間は、まずは子どもたちの意見を拾いたい。

4 その他

米田教育長…5回の会議で皆さんに参集いただき、ここまで辿り着けたことに感謝申し上げる。前回のあり方検討委員会は全部で7回の会議を設けた。今回は5回で話し合いをしていただけるのか当初は不安もあったが、子どもたちのこと、そして、地域のことを話し合っていただくことができた。また、グループ協議で前向きに夢を語ってくださる委員の皆様を見て、私たちも励まされる思いであった。このあり方検討委員会で出された答申書と答

申資料が、これからの子どもたちが地域の方とともに学べる学校づくりに繋がるという希望を持つことができた。皆さんが多くの意見をくださり、養父市の子どもたちのこと、養父市の未来のことを考えてくださったことに感謝を申し上げ、全員で集まるのは今日が最後ということで、皆様に敬意を表したい。

小西委員長…5回の会議で、難しい課題を考えてくださったことに感謝の気持ちと安心を感じる場所である。また養父市の力になれることがあれば協力させていただきたい。

5 閉 会

中島副委員長…小西委員長から課題をもらい、何度も何度も苦しみながら取り組んできたが、皆さんで意見を出し合い、今日まとめることができた。これをもって、養父市教育のあり方検討委員会を閉会する。